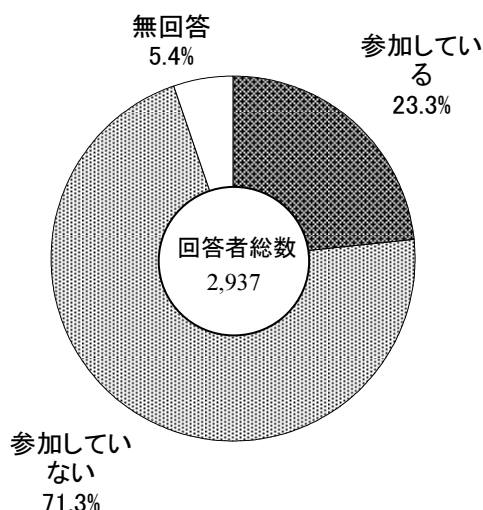


Ⅲ 介護予防と健康の増進について

1 地域活動や講座への参加状況

問 26 現在、参加している地域活動や講座がありますか。

地域活動や講座への参加状況は、「参加している」が 23.3%、「参加していない」が 71.3%となっている。

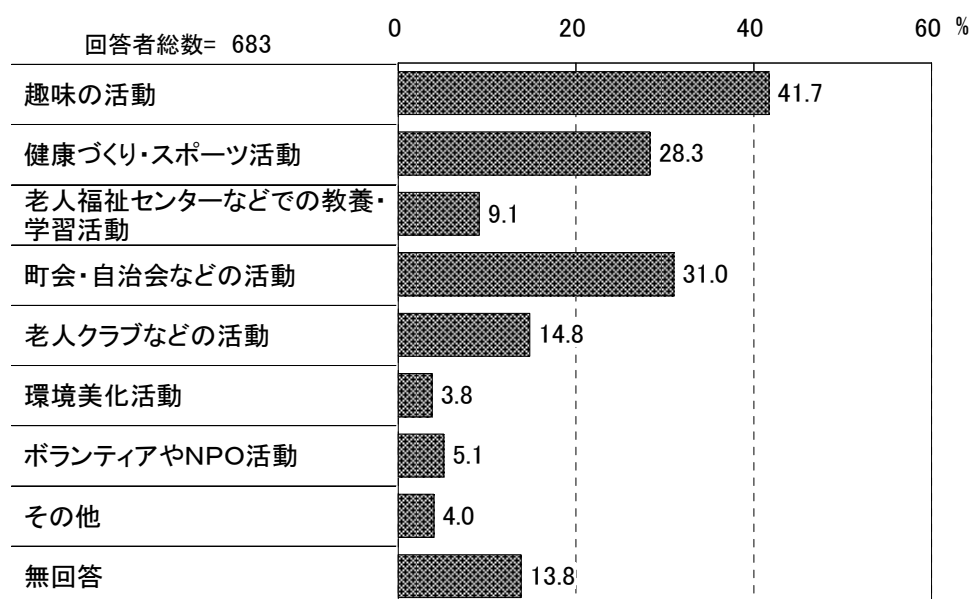


問 26-1 問 26 で「参加している」と答えた方におうかがいします。

あなたは現在、どのような地域活動や講座に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

参加している地域活動や講座は、「趣味の活動」が 41.7%と最も多く、次いで「町会・自治会などの活動」が 31.0%、「健康づくり・スポーツ活動」が 28.3%、「老人クラブなどの活動」が 14.8%などとなっている。



【性別／参加している地域活動や講座】

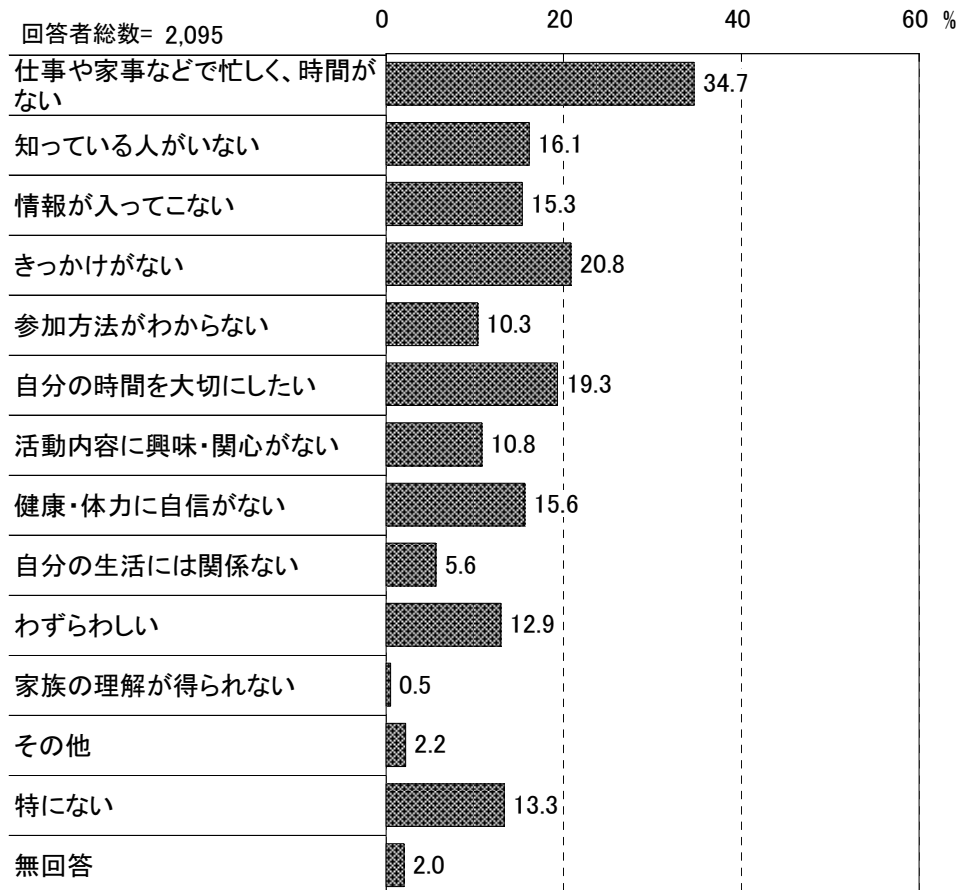
性別にみると、「趣味の活動」では女性が男性よりも割合が高く、女性が5割弱であるのに対して、男性は3割強となっている。また、「老人福祉センターなどでの教養・学習活動」では女性が1割を超えているが、男性は3%程度であった。一方、「町会・自治会などの活動」では、男性は4割、女性は2割強になっている。

		(%)								
性別		趣味の活動	健康づくり・スポーツ活動	老人福祉センターなどでの教養・学習活動	町会・自治会などの活動	老人クラブなどの活動	環境美化活動	ボランティアやNPO活動	その他	無回答
全体	683	41.7	28.3	9.1	31.0	14.8	3.8	5.1	4.0	13.8
男性	281	33.1	24.2	3.2	40.6	11.7	3.2	6.4	4.3	17.4
女性	391	48.6	31.7	13.3	23.8	16.4	4.1	4.3	3.8	11.3

問 26－2 問 26 で「参加していない」と答えた方におうかがいします。
 地域活動や講座に参加していない理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

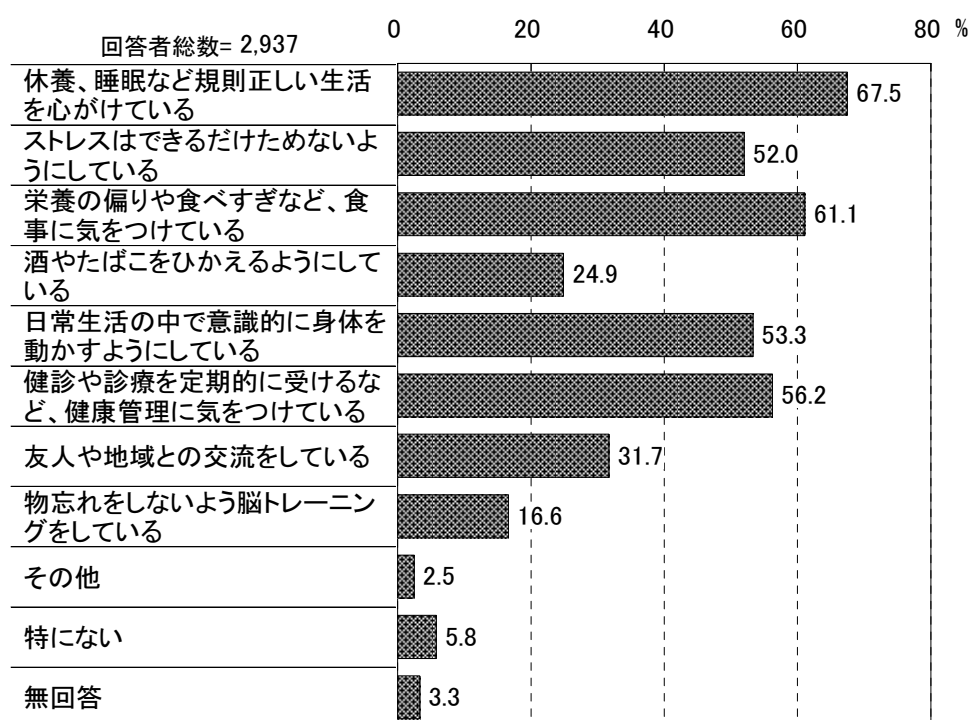
地域活動や講座に参加していない理由は、「仕事や家事などで忙しく、時間がない」が 34.7%と最も多く、次いで「きっかけがない」が 20.8%、「自分の時間を大切にしたい」が 19.3%、「知っている人がいない」が 16.1%、「健康・体力に自信がない」が 15.6%、「情報が入ってこない」が 15.3%などとなっている。



2 日頃から心がけていること

問 27 あなたは、いつまでも元気でいるために、日ごろから心がけていることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

日頃から心がけていることは、「休養、睡眠など規則正しい生活を心がけている」が67.5%と最も多く、次いで「栄養の偏りや食べすぎなど、食事に気をつけている」が61.1%、「健診や診療を定期的に受けるなど、健康管理に気をつけている」が56.2%、「日常生活の中で意識的に身体を動かすようにしている」が53.3%、「ストレスはできるだけためないようにしている」が52.0%などとなっている。

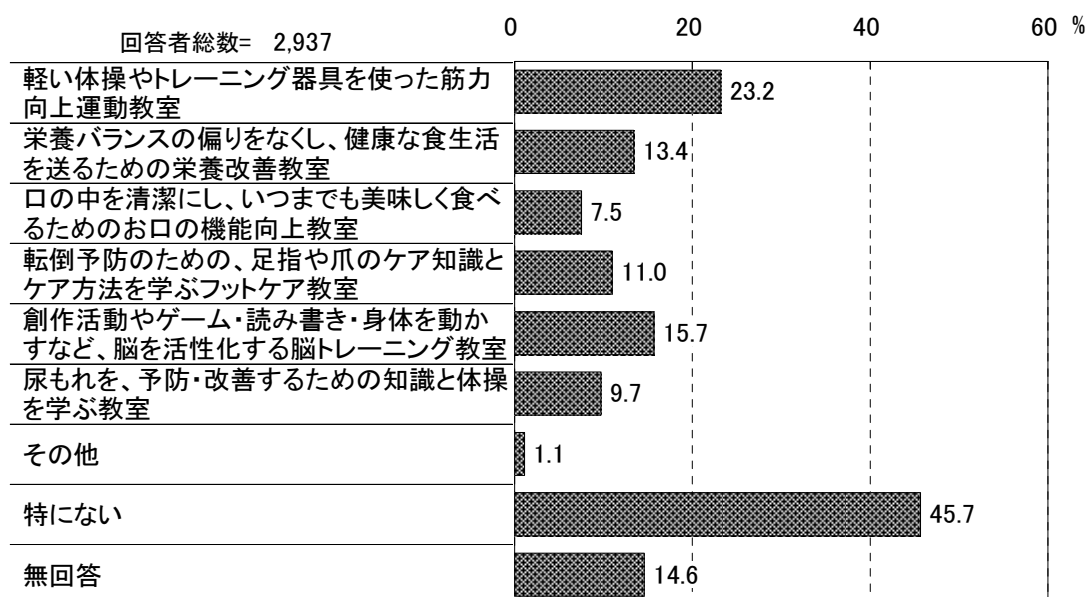


3 参加したい介護予防教室

問 28 下記のうち、あなたが参加したいと思う区の事業の「介護予防教室」はありますか。(あてはまるものすべてに○)

参加したい介護予防教室は、「特にない」が45.7%と最も多くなっている。

参加したい教室では、「軽い体操やトレーニング器具を使った筋力向上運動教室」が23.2%、「創作活動やゲーム・読み書き・身体を動かすなど、脳を活性化する脳トレーニング教室」が15.7%、「栄養バランスの偏りをなくし、健康な食生活を送るための栄養改善教室」が13.4%、「転倒予防のための、足指や爪のケア知識とケア方法を学ぶフットケア教室」が11.0%などとなっている。

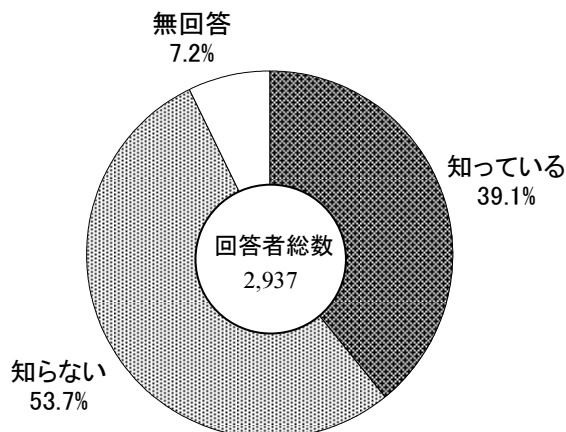


IV 介護保険制度について

1 地域包括支援センターの相談について

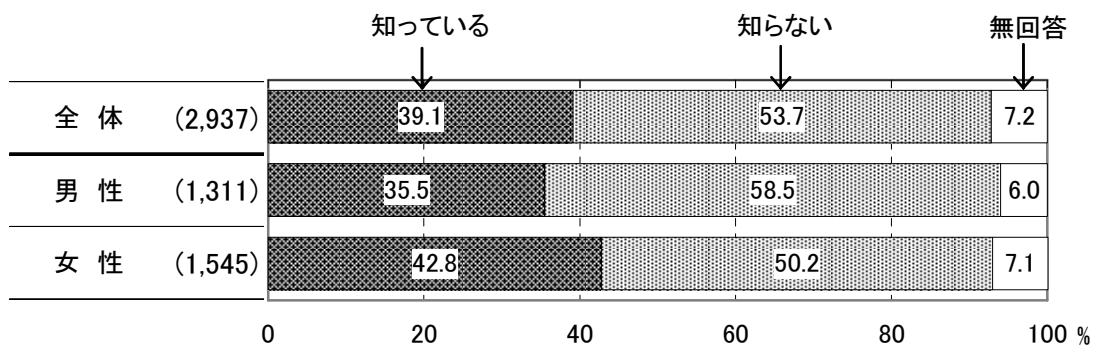
問 29 高齢者の身近な相談機関である地域包括支援センターでは、専門の職員がさまざまな相談に対応してくれることを知っていますか。

地域包括支援センターの相談については、「知っている」が39.1%、「知らない」が53.7%となっている。



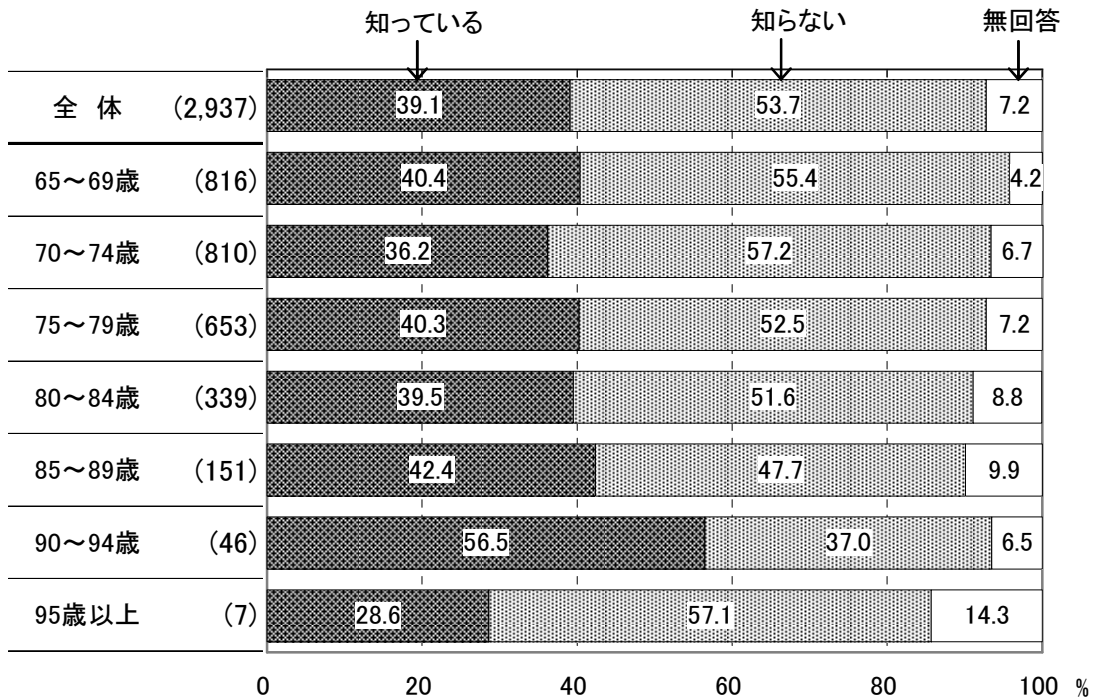
【性別／地域包括支援センターの相談について】

性別にみると、女性では「知らない」が50.2%だが、男性は58.5%となっている。



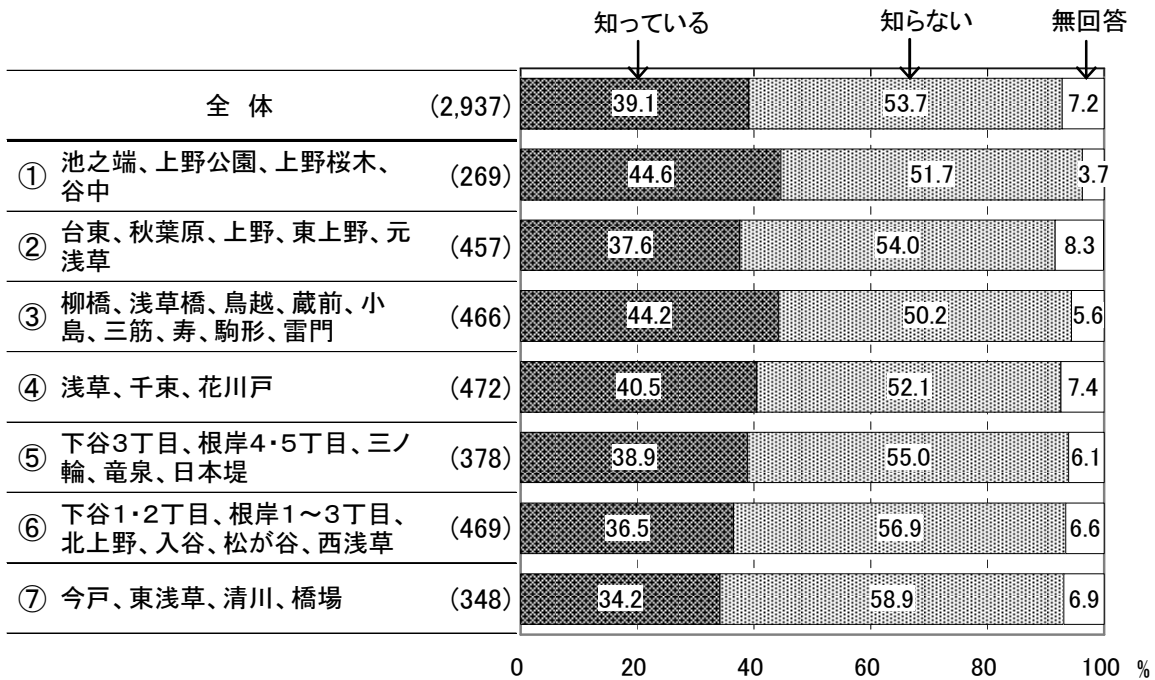
【年齢区分別／地域包括支援センターの相談について】

年齢区分別にみると、“90～94歳”の5割半ばは「知っている」が、他の年齢区分では「知らない」割合が高く、89歳以下で「知っている」は4割前後に止まっている。



【居住地域別／地域包括支援センターの相談について】

居住地域別にみると、①と③の地域は他の地域と比べ、「知っている」が4割半ばとなっている。一方、⑦の地域では「知っている」割合が低くなっている。

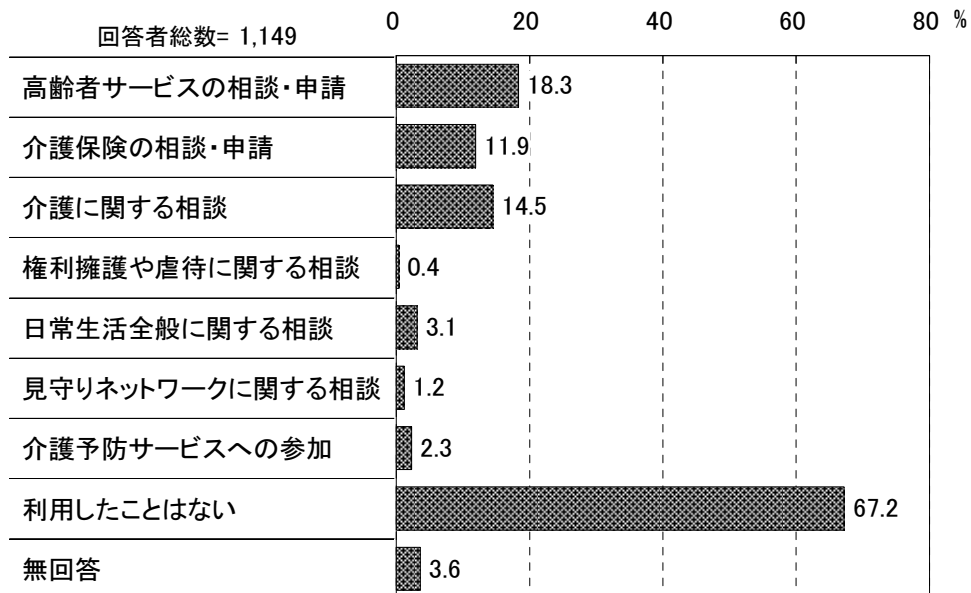


問 29-1 問 29 で「知っている」と答えた方におうかがいします。

今までどのような理由で地域包括支援センターを利用しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

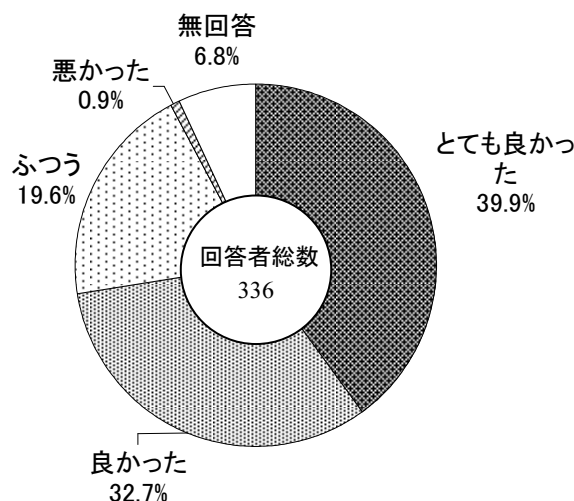
地域包括支援センターの利用理由は、「高齢者サービスの相談・申請」が 18.3%、「介護に関する相談」が 14.5%、「介護保険の相談・申請」が 11.9%などとなっているが、「利用したことはない」は 67.2%であった。



問 29-2 問 29-1 で「利用したことはない」以外を回答した方におうかがいします。

地域包括支援センターを利用した際の職員等の対応はいかがでしたか。

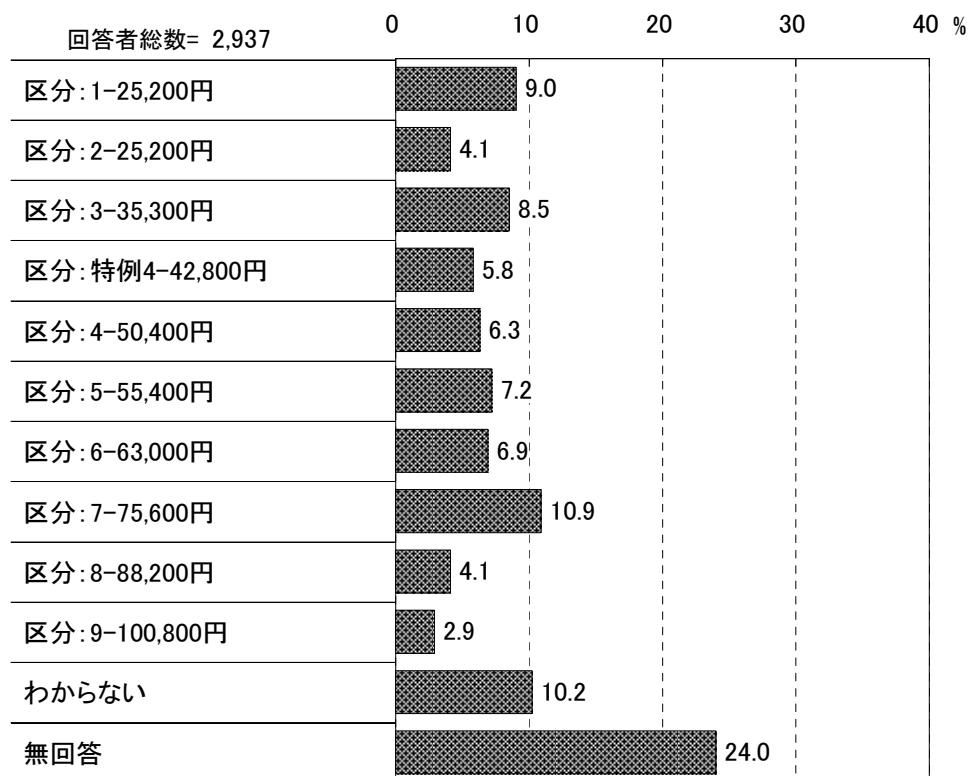
地域包括支援センターを利用した際の職員等の対応については、「とても良かった」が 39.9%、「良かった」が 32.7%、「ふつう」が 19.6%、「悪かった」が 0.9%となっている。「とても良かった」と「良かった」を合わせると、職員等の対応が良かったと感じている方は7割を超えている。



2 介護保険料額

問 30 あなたの平成 22 年度の介護保険料額を、下の 1 から 10 の番号でお答えください。

介護保険料額は、「区分：7-75,600円」が 10.9%、「区分：1-25,200円」が 9.0%、「区分：3-35,300円」が 8.5%などとなっている。



【介護保険料額の負担感別／介護保険料額】

介護保険料額の負担感別にみると、「区分1」は介護保険料額が妥当と考える方や負担には感じていない方がそれぞれ1割半ばと「区分1」全体の割合と比べてやや高くなっている。また「区分3」においても妥当な額であると考えられる割合が高くなっている。

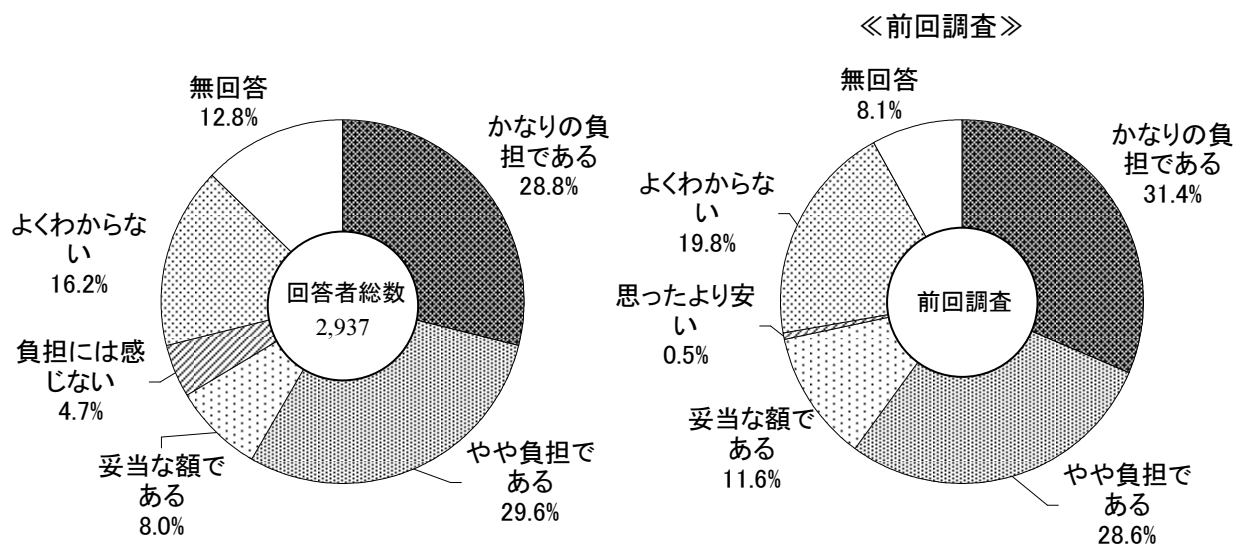
	全体	かなりの負担である	やや負担である	妥当な額である	負担には感じない	よくわからない
回答者数(人)	2,937	846	868	234	137	476
区分:1-25,200円	9.0	7.8	6.2	15.4	16.8	14.1
区分:2-25,200円	4.1	3.5	5.6	6.4	4.4	2.9
区分:3-35,300円	8.5	7.1	11.8	15.0	7.3	6.3
区分:特例4-42,800円	5.8	6.6	6.7	4.7	6.6	6.1
区分:4-50,400円	6.3	8.5	7.9	7.7	2.2	3.6
区分:5-55,400円	7.2	9.3	9.9	3.4	9.5	2.5
区分:6-63,000円	6.9	7.1	8.9	10.7	2.9	3.8
区分:7-75,600円	10.9	12.1	15.2	11.5	10.9	6.9
区分:8-88,200円	4.1	5.0	4.6	4.3	6.6	2.5
区分:9-100,800円	2.9	4.0	2.6	2.1	6.6	2.3
わからない	10.2	9.6	5.8	8.5	9.5	26.5
無回答	24.0	19.4	14.7	10.3	16.8	22.5

単位: %

3 介護保険料額の負担感

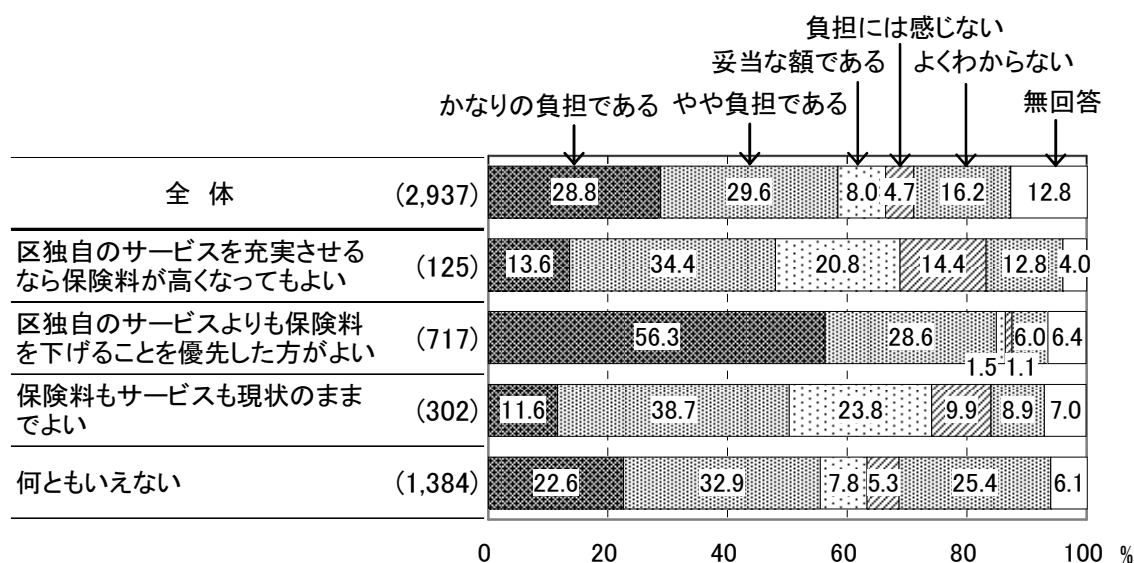
問 31 あなたは、介護保険料額をどのように感じていますか。

介護保険料額の負担感は、「かなりの負担である」が28.8%、「やや負担である」が29.6%、「妥当な額である」が8.0%、「負担には感じない」が4.7%となっている。「かなりの負担である」と「やや負担である」を合わせると58.4%が負担と感じており、前回調査の60.0%とほぼ同様の結果となっている。



【区独自の介護保険サービスに対する考え方別／介護保険料額の負担感】

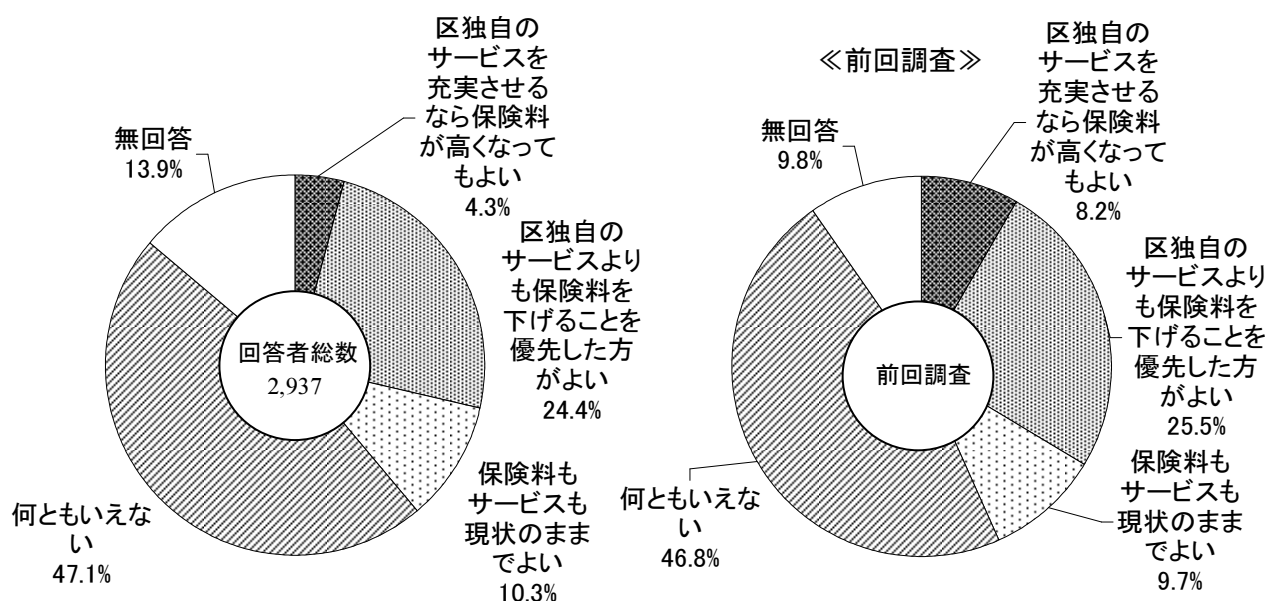
区独自の介護保険サービスに対する考え方別にみると、“保険料を下げることを優先した方がよい”の5割半ばが介護保険料額を「かなりの負担である」と感じている。一方、“区独自のサービスを充実させるなら保険料が高くなってもよい”と考える方の1割半ばが介護保険料額に負担を感じておらず、他の考えと比べて割合が高くなっている。



4 区独自の介護保険サービスに対する考え方

問 32 区が独自で実施するサービス（台東区では施設入浴サービスを実施）があります。区独自のサービスについて、あなたのお考えをおうかがいします。

区独自の介護保険サービスに対する考えは、「区独自のサービスを充実させるなら保険料が高くなってもよい」が4.3%、「区独自のサービスよりも保険料を下げることを優先した方がよい」が24.4%「保険料もサービスも現状のままでよい」が10.3%、「何ともいえない」が47.1%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

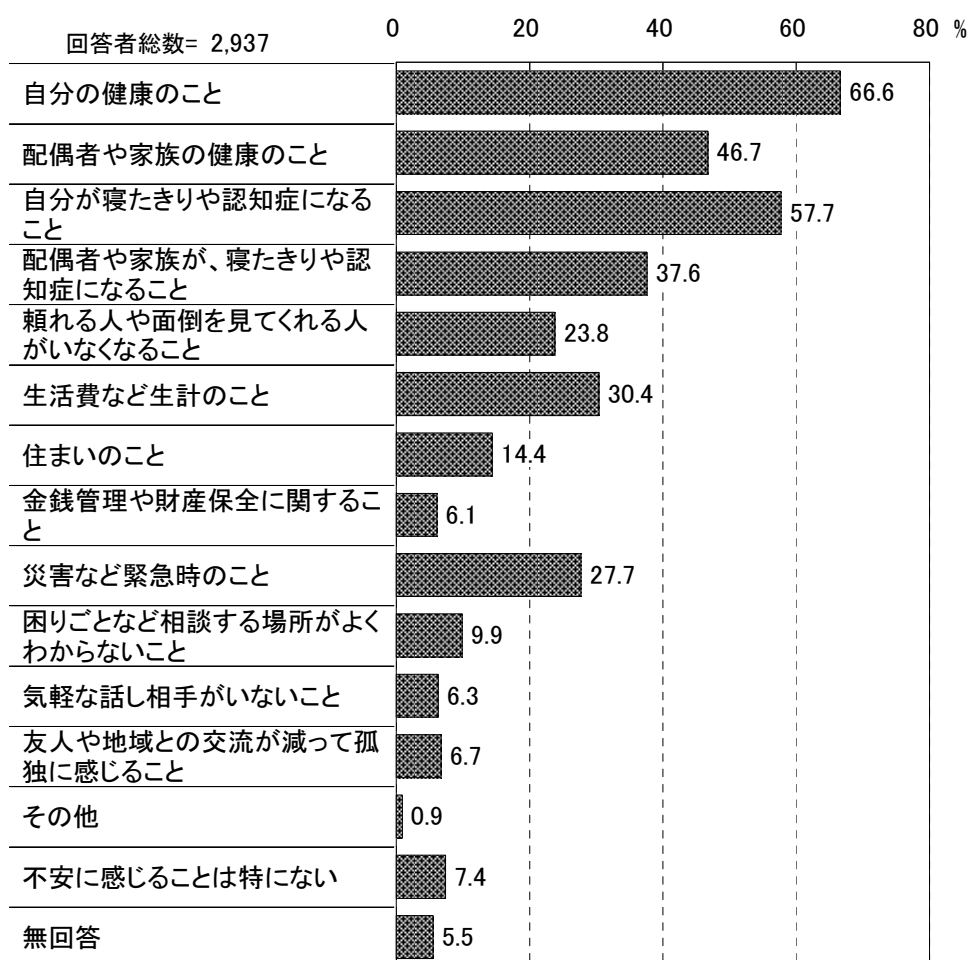


5 不安に感じていること

問 33 あなたが、現在の生活で不安に感じていることはなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

不安に感じていることは、「自分の健康のこと」が 66.6%と最も多く、次いで「自分が寝たきりや認知症になること」が 57.7%、「配偶者や家族の健康のこと」が 46.7%、「配偶者や家族が、寝たきりや認知症になること」が 37.6%、「生活費など生計のこと」が 30.4%などとなっている。



【年齢区分別／不安に感じていること】

年齢区分別にみると、自分の健康や配偶者、家族の健康を不安に感じている方は、65歳から79歳にかけて年齢区分が高くなるにつれて割合が高くなるが、80歳以上では逆に年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。「自分が寝たきりや認知症になること」では、90歳以上で他の年齢区分と比べて割合が低くなっている。「生活費など生計のこと」では、年齢区分が高くなるにつれて不安に感じる割合が低くなっている。

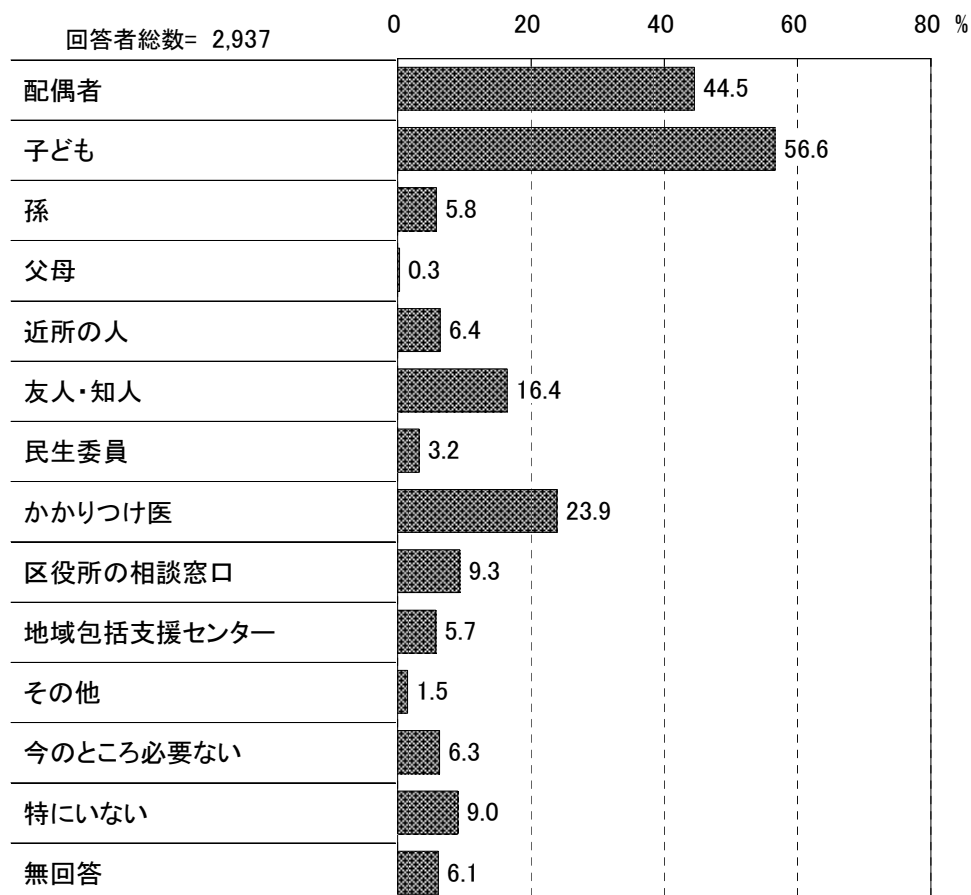
(%)

		自分の健康のこと	配偶者や家族の健康のこと	自分が寝たきりや認知症になること	配偶者や家族が、寝たきりや認知症になること	頼れる人や面倒を見てくれる人がいなくなる	生活費など生計のこと	住まいのこと	金銭管理や財産保全に関すること	災害など緊急時のこと	くわがらな	困りごとなど相談する場所がよ	気軽な話し相手がい	独り暮らし	友人や地域との交流が減	その他	不安に感じること	無回答
全体	2,937	66.6	46.7	57.7	37.6	23.8	30.4	14.4	6.1	27.7	9.9	6.3	6.7	0.9	7.4	5.5		
65～69歳	816	62.0	46.4	53.9	37.3	21.1	33.0	15.2	4.8	21.9	8.5	4.4	4.3	1.2	9.6	3.8		
70～74歳	810	67.9	47.2	59.5	40.6	24.1	36.8	18.1	6.3	28.1	10.7	7.3	7.3	0.5	5.7	4.8		
75～79歳	653	72.0	51.5	61.7	39.4	25.0	30.5	13.0	7.4	31.5	11.2	6.6	7.5	0.9	6.0	5.1		
80～84歳	339	69.3	44.5	60.8	35.7	27.7	22.4	11.5	7.1	33.9	9.4	6.8	8.0	1.5	5.6	6.8		
85～89歳	151	66.9	43.7	60.9	33.8	25.2	15.9	5.3	6.0	33.1	7.9	5.3	9.3	0.0	10.6	7.3		
90～94歳	46	45.7	32.6	45.7	28.3	23.9	10.9	6.5	6.5	23.9	6.5	10.9	8.7	0.0	13.0	8.7		
95歳以上	7	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3		

6 介護に関する不安や悩みの相談相手

問 34 あなたは、介護について不安や悩みを相談できる相手はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

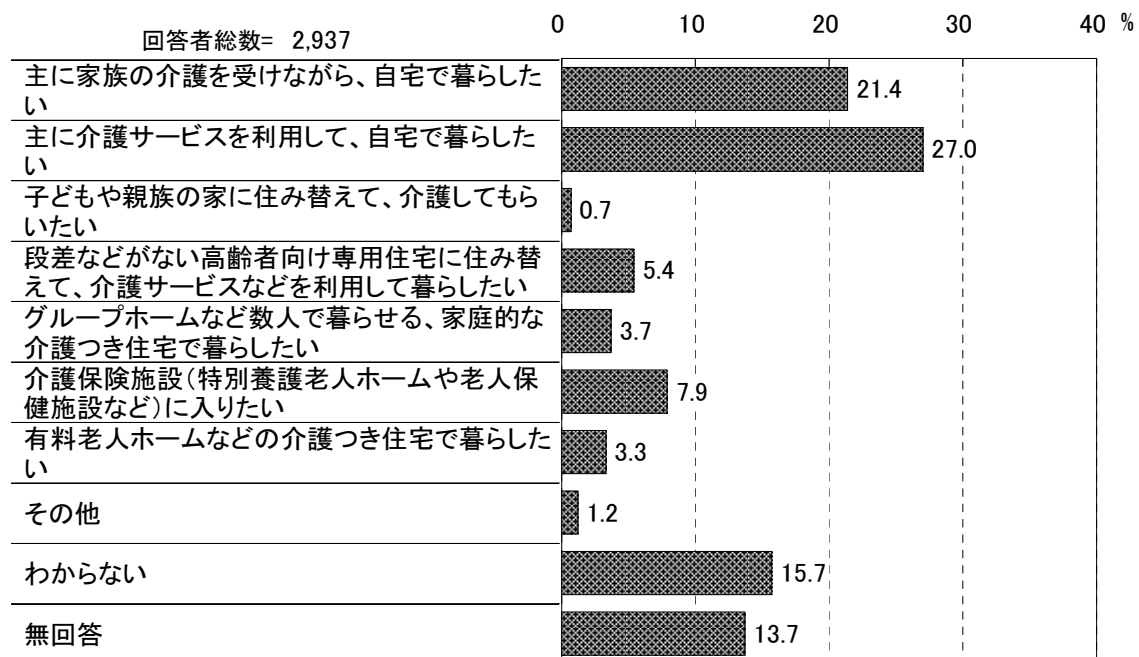
介護に関する不安や悩みの相談相手は、「子ども」が 56.6%と最も多く、次いで「配偶者」が 44.5%、「かかりつけ医」が 23.9%、「友人・知人」が 16.4%などとなっている。



7 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

問 35 今後、あなたに介護が必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(近い希望ひとつに○)

介護が必要になった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が27.0%と最も多く、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が21.4%などとなっている。また、「わからない」が15.7%となっている。5割近くが、家族の介護や介護サービスの利用によって自宅で暮らしたいと希望している。



【年齢区分別／介護が必要になった場合に希望する暮らし方】

年齢区分別にみると、介護サービスの利用と家族介護の違いによって、同じ自宅での暮らしを希望している方でも傾向が異なり、介護サービスを希望する方では年齢区分によって特に顕著な差がみられないのに対して、家族介護を希望する方は年齢区分が高くなるにつれて割合も高くなっている。介護サービス利用による自宅暮らしではいずれの年齢区分においてもおおむね3割弱だが、家族介護による自宅暮らしでは“65～69歳”で2割弱であるのが、90歳以上では4割前後となっている。

(%)

		主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	子どもや親族の家に住み替えて、介護してもらいたい	子どもや親族の家に住み替えて、介護サービスを利用したい	段差などがない高齢者向け専用住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい	暮らしたい	グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護つき住宅で暮らしたい	グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護つき住宅で暮らしたい	介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など）に入りたい	有料老人ホームなどの介護つき住宅で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	2,937	21.4	27.0	0.7	5.4	3.7	7.9	3.3	1.2	15.7	13.7			
65～69歳	816	17.9	26.3	0.6	7.6	5.4	6.7	3.9	1.2	19.1	11.2			
70～74歳	810	16.2	28.6	0.1	5.9	3.8	9.8	3.7	1.4	16.8	13.7			
75～79歳	653	24.2	27.9	0.9	3.8	3.7	8.3	3.7	0.5	13.2	13.9			
80～84歳	339	27.4	26.3	1.5	4.7	1.5	8.3	2.4	2.1	12.4	13.6			
85～89歳	151	32.5	27.2	1.3	2.0	1.3	4.0	2.6	0.7	9.9	18.5			
90～94歳	46	37.0	28.3	2.2	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	13.0	13.0			
95歳以上	7	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3			